

沖縄語のための用字用語例集の作成について（提案）（3枚）

2007年10月2日

沖縄語研究家 船津好明

日本語の表記の乱れは昔、長年続きました。漢字は当て放題、仮名送りは不統一甚だしく、それでいて社会的に大した問題にならなかったのは、読み手が日本語の堪能な話者であったからです。昔は文字遣いが疎漏、というより現在のような文字遣いとは違っていたし、書き手は識者、読み手はそういう文を読みこなすことが学習でした。当時はおそらく、表記が乱れているという意識はなかったと思います。

現在は、国語審議会の答申によって書き方の拠り所が示され、内閣告示等によって実施され、歴史的経緯から変則をだいが残しながらも、役所、学校、マスコミ、一般を通じ、日本語は昔よりは安定した書き方になっています。書き方の拠り所は書き方の規範であり、同じ意味の言葉を誰が書いても同じ書き方になる案内をするものです。

一方、沖縄語の読み書きの事情は、共通語の読み書きの事情と根本的に違います。共通語を読み書きする人は共通語の話者ですが、沖縄語を読み書きする人は必ずしも沖縄語の話者ではないということです。

こういう事情の上に、**現在の沖縄語の書き方は荒れ放題**といっても過言でなく、更に沖縄語に共通語が被さって、規範性に乏しく、このまま沖縄語の教育を進めては、子供の学力の低下など教育面で悪影響をもたらす恐れがあります。そうならないよう、既にある日本語の書き方の拠り所の形式を参考にして、**沖縄語の書き方についての拠り所・規範を示すことが、今最も必要なこと**と思います。そうすれば、役所、学校、マスコミ、芸能界、一般を通じ、**沖縄語の表記についての迷いがなくなる**と思います。

編集に当たっては、参考として例えば「新公用文用字用語例集」（内閣総理大臣官房総務課監修、ぎょうせい、平成19年）が役に立ちます。他にもあります。これらをモデルに、**沖縄語独自の書き方の手引書として「沖縄語のための用字用語例集（仮称）」を作成することを提案**します。

以下、その形式案を示します。いずれの内容も法令で決めるような堅いものではなく、一つの指針、あるいは書き方に迷ったときの拠り所というような性格のものです。一度に全てを固めるのは無理ですから、初めは緩やか目にして随時の見直しによって改善を重ねて絞っていくのが現実的であると考えます。

各事項とも初めに原則的な説明をする必要があります。

1、用字用語例一覧

言葉を一覧で示します。沖縄語の漢字には必ず仮名を振ります。**文字遣いにおいて、音韻が対応する共通語があるときは、それに整合させる**と共に、言葉により簡単な使用例を添えます。対比のため共通語の文字遣いも併記します。不適切な書き方も併記して、適切な書き方を印象づけます。

(様式例)

	適切	共通語	× 不適切
・	・	・	・
・	・ (前略)	・	・
かんげーゆん	^{かんげ} 考ーゆん	考える	× ^{かん} 考げーゆん
・	・ (後略)	・	・
・	・	・	・

(長音には「ー」を用いますが、仮名によることも妨げないこととします。例：^{かんげ}考えゆん。)

2、漢字を用いた場合の送り仮名のつけ方

説明をよくし、説明ごとに例を設けます。一部の言葉は上記の「用字用語例一覧」と重複します。**共通語と音韻が対応している沖縄語の漢字の送り仮名は、共通語での送り方と整合させます。**

3、現代仮名遣い

共通語の場合は歴史的事情から言文不一致などの変則が多いのですが、沖縄語においては言文一致指向の独自の新しい書き方を編み出す好機です。文は平仮名に漢字を適宜に混ぜることとし、漢字には必ず仮名を振ります。

(1) 文字資源

共通語の現在の仮名、旧仮名を借り、これに沖縄語用の新規開発仮名を加え、更に拗音、促音、長音、声門音など、**沖縄語の音声の特徴を保つ**よう書き方を整えます。文語の歴史的仮名遣いとの関係についても触れます。

(2) 選択使用の自由度

仮名遣いについては、現在混乱の状況にあることに配慮し、推奨の序列を設けるなど選択の余地を残し、人々の使用の慣れを見ながら改定を加えて収斂させていくのが

現実的であると思います。

4、常用漢字表

共通語のものを借りて、沖縄語向きに使うこととし、掲載は不要と思います。

5、外国語の表記

外国語とは日本語以外の言葉をさします。共通語の作法に準じ、片仮名を用います。
外来語とは、沖縄語圏以外の言葉を沖縄語の中で使う場合を指します。共通語や宮古の言葉などを指し、平仮名または漢字を用います。

6、その他沖縄語の表記に関する特記事項

上記以外の沖縄語に関する特記事項を挙げます。

(以上)

沖縄語に関する筆者の2007年以降の全論文はWeb上にあり、
<http://www.wvq.jp/p/fpapers.html> から自由にダウンロードできます。

照会先：〒1870002 東京都小平市花小金井2-6-1

船津好明

Tel/Fax 042-467-1273

Email funatsu@mvf.biglobe.ne.jp